

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アイビーキッズ代々木西参道			
○保護者評価実施期間	2026年 8月 4日		～	2026年 9月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数)	13人
○従業者評価実施期間	2026年 8月 11日		～	2026年 9月 4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 10月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広々とした環境と目的に応じた適切な環境構造化	身体を思い切り動かせるスペースと机上課題・工作に集中できる個別スペースを完備し、刺激を抑えた整った空間構成に努めています。	室内レイアウトの見直しや時間帯に応じた空間の区切りなど、動線と安全面に配慮した工夫を継続・強化いたします。限られたスペースの中でも子どもが伸び伸びと安全に活動できるように、環境調整とプログラムの最適化に努めてまいります。
2	一人ひとりに寄り添う丁寧な直接支援と信頼関係の構築	マンツーマンレッスンでの関わりや、担当が変わっても一貫した手法・姿勢で子どもが安心して楽しく取り組める支援を行っています。	支援内容や子どもへの関わり方について、全職員が参加するケース会議や研修を定期的 to 実施し、情報共有と質の均一化を図ってまいります。チーム全体で子ども一人ひとりに丁寧に向き合い、質の高い支援を提供できるよう体制を強化してまいります。
3	管理責任者を中心とした丁寧な面談と保護者支援	日常のフィードバックや面談等で保護者の相談に親身に耳を傾け、家庭での困りごとを共に解決する姿勢を大切にしています。	子どもの成長や日頃の支援に対する温かいお言葉をいただき、職員一同大変励みになっております。いただいたお声を励みに、今後も子ども・保護者に寄り添った丁寧な支援を提供できるよう尽力してまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流機会や家族支援・きょうだい支援の提供	個別面談や療育提供に主軸を置いており、保護者会やご家族・きょうだい児も参加できるイベント等の設定が不十分であったため。	保護者様同士の情報交換の場や、ご家族・きょうだい児の皆様にご参加いただけるイベント等の機会提供に向け、事業所として具体的な企画・実施を検討してまいります。
2	地域交流や近隣施設（併設園等）との連携・開かれた事業運営	地域への情報発信や近隣保育園・事業所との交流行事等の企画・実施が発展途上であるため。	近隣施設や関係機関との連携可能性を模索し、安全面やプライバシーに配慮しつつ、インクルージョンの観点に基づいた地域交流や情報発信の機会づくりに取り組んでまいります。
3	専門的な相談対応・発信周知および安全管理訓練の更なる徹底	子どもへの声かけ意図の説明不足や発信情報の周知不足、また非常時・防犯訓練の実効性をより高める必要があるため。	地域の児童発達支援センターや専門機関との連携体制を共有し、専門的助言を受ける機会を活用いたします。また、日々のヒヤリハット共有や事例分析・マニュアル反映を迅速に行い、安全管理の徹底に努めてまいります。